

# 新伊達博物館建築設計業務 基本設計図書

2022 年 06 月【概要版】

KENGO KUMA & ASSOCIATES

隈研吾建築都市設計事務所

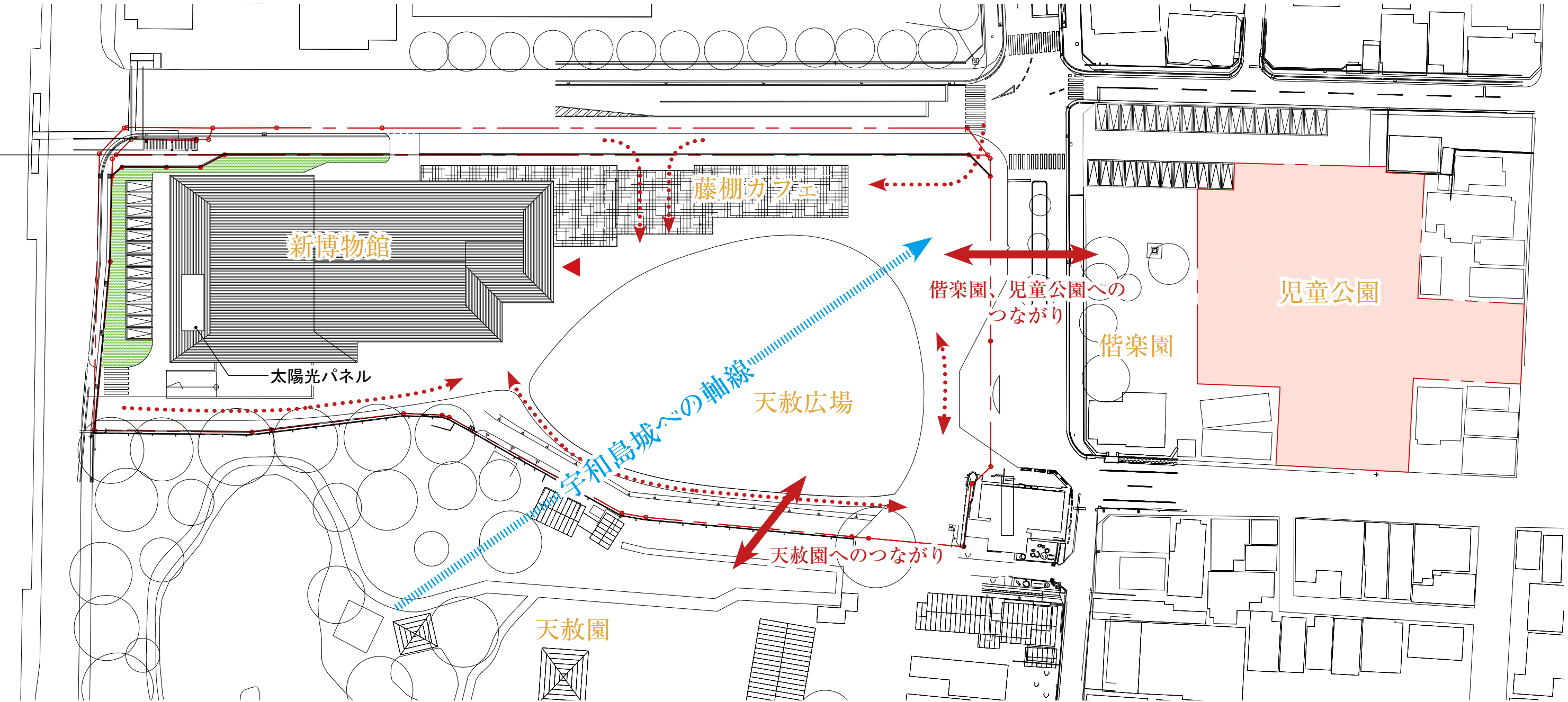




都市の居間のような、まちに開かれた居心地の良い博物館とします。

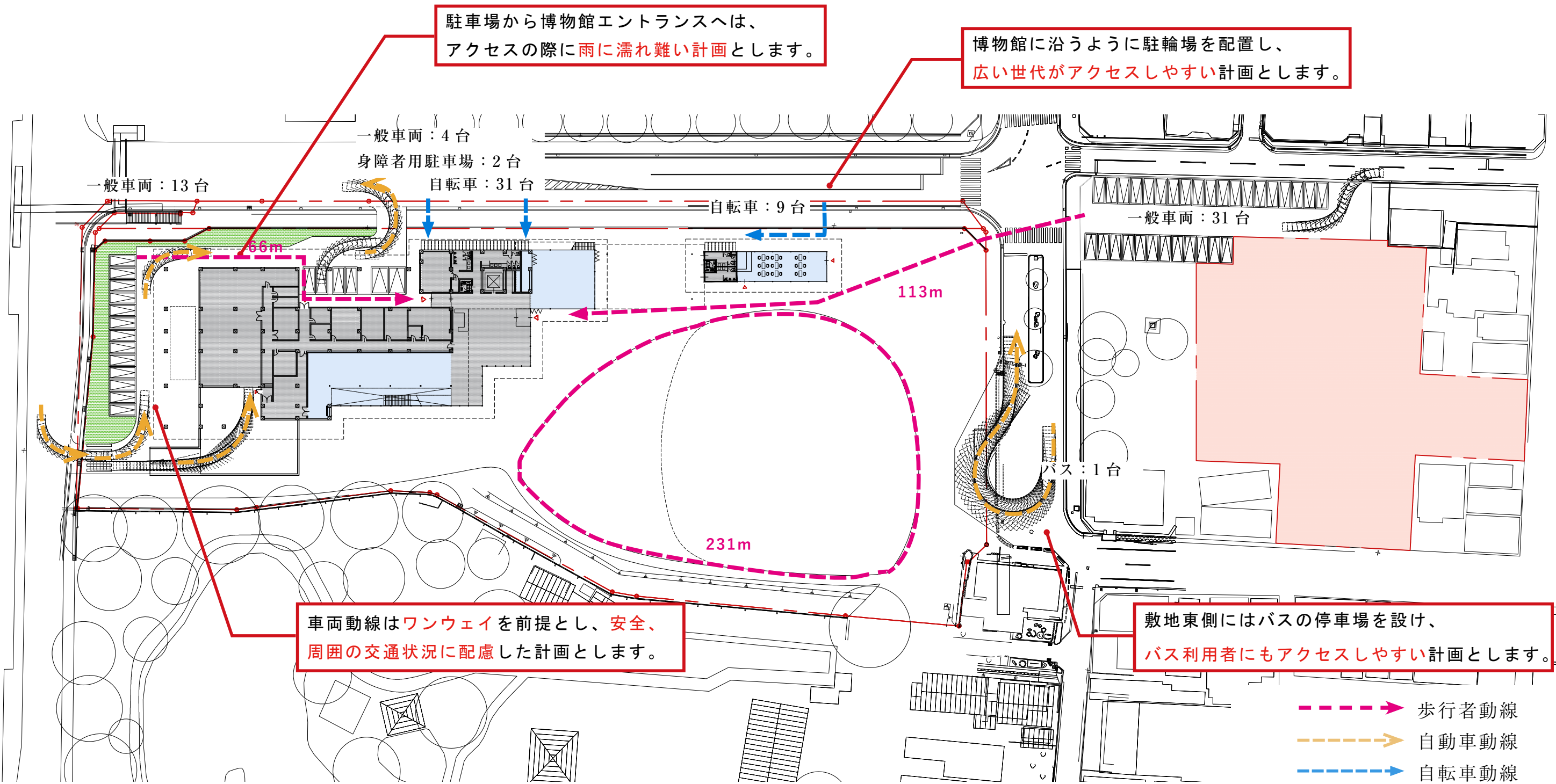


# 配置方針



天赦園から宇和島城への歴史的な軸線を重視し、博物館を北西側にコンパクトにまとめます。  
天赦広場を大きく取ることの出来る計画です。  
天赦園、天赦広場、偕楽園、児童公園が連動し、地域活動の中心となる博物館となります。

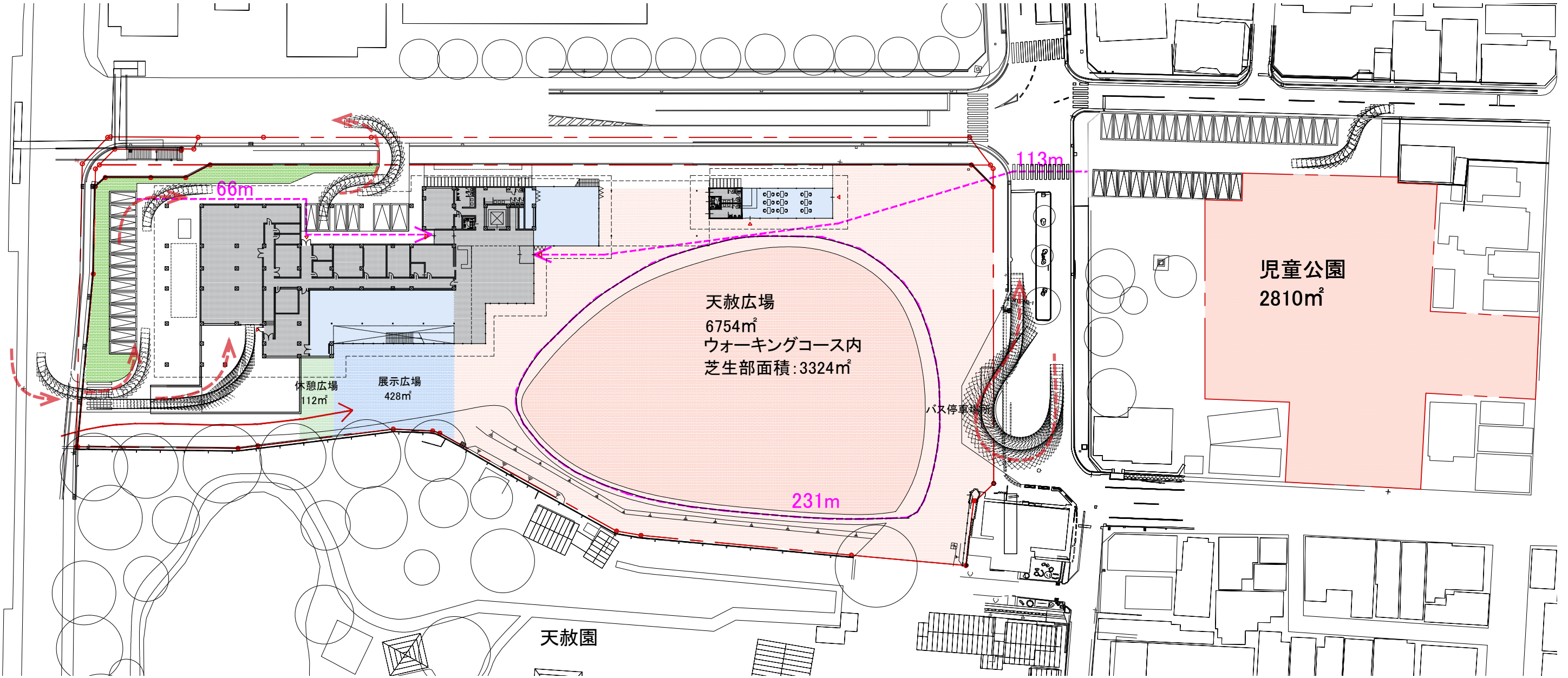
# 配置方針



敷地には多くの箇所から入ることのできる、広く開かれた計画とします。  
天赦広場には回遊動線を設け、様々な利用に配慮するとともに、広場から天赦園に直接アクセスできる計画とします。



# 駐車場・駐輪場計画



■ 駐車場から建物入口まで：西側から約 66 m  
現博物館駐車場から約 113 m

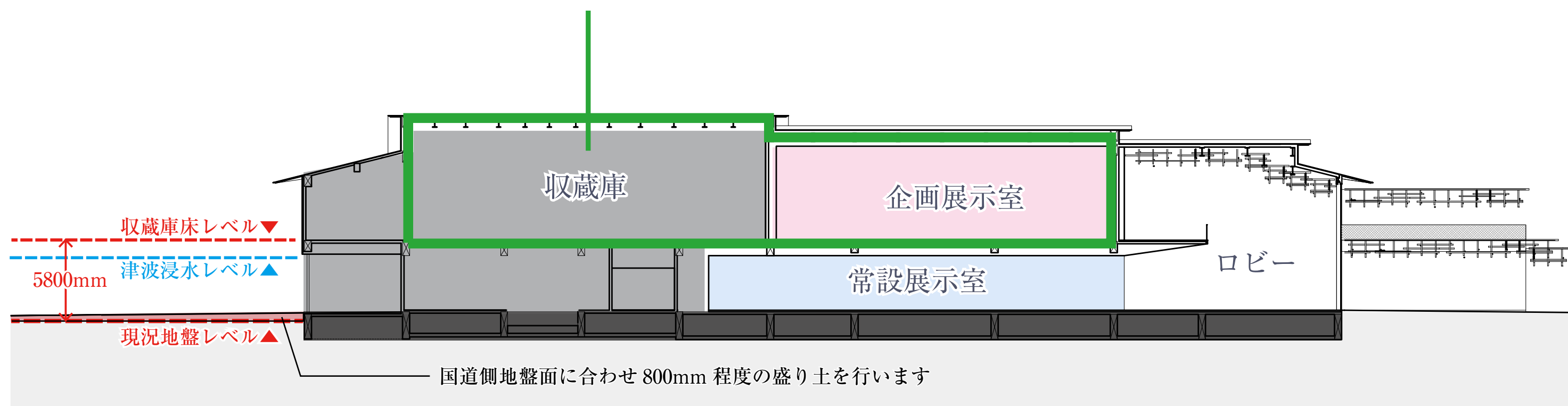
■ 駐車場台数：建物西側 13 台  
建物下 6 台 (一般駐車場：4 台、身障者用駐車場：2 台)  
現博物館側 31 台  
合計 50 台

■ 駐輪場台数：40 台

| 天赦広場      | 児童公園                  | 防潮緑地 |
|-----------|-----------------------|------|
| 現状：7383㎡  | 現状：3100㎡              |      |
| 計画案：6754㎡ | (トイレ、出入口<br>スロープ等を含む) |      |
|           | 計画案：2810㎡             |      |

## 蔵でしっかりと収蔵品を守る

### 収蔵品を守り、未来へ伝える「蔵」



大地震時に敷地が津波で浸水した場合でも、収蔵品への影響が出ないように、展示・収蔵エリアを2Fに配置します。  
主要な設備機器類も上階に設置することで、電力復旧後にいち早く収蔵環境を整えることが可能です。



## 周辺環境に馴染み、伊達文化を表象する外装



広場側



国道側



# 機能的でありながら地場産材を活かして地域を表象するエントランスホール

2F天井: 木繊維セメント板+藤棚同意匠の木組み

2階企画展示室廻り壁面: 柿渋和紙 光壁 + 木組み

1階天井: AEP塗装



床: 南予材圧密加工フローリング

受付裏壁面、受付カウンター: 南予材

1階壁面: 左官仕上げ (無機材)

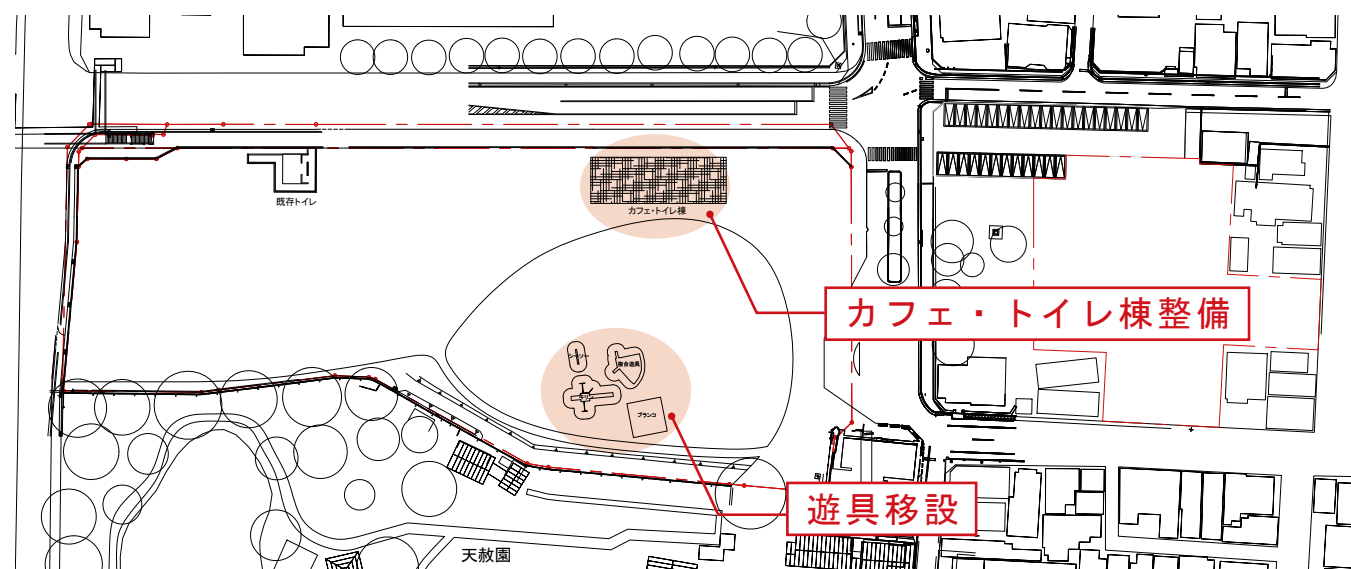
南予材をはじめとする地場産材を積極的に活用します。

宇和島藩の藩造林や泉貨紙等、伊達家ゆかりの素材の採用についても検討します。

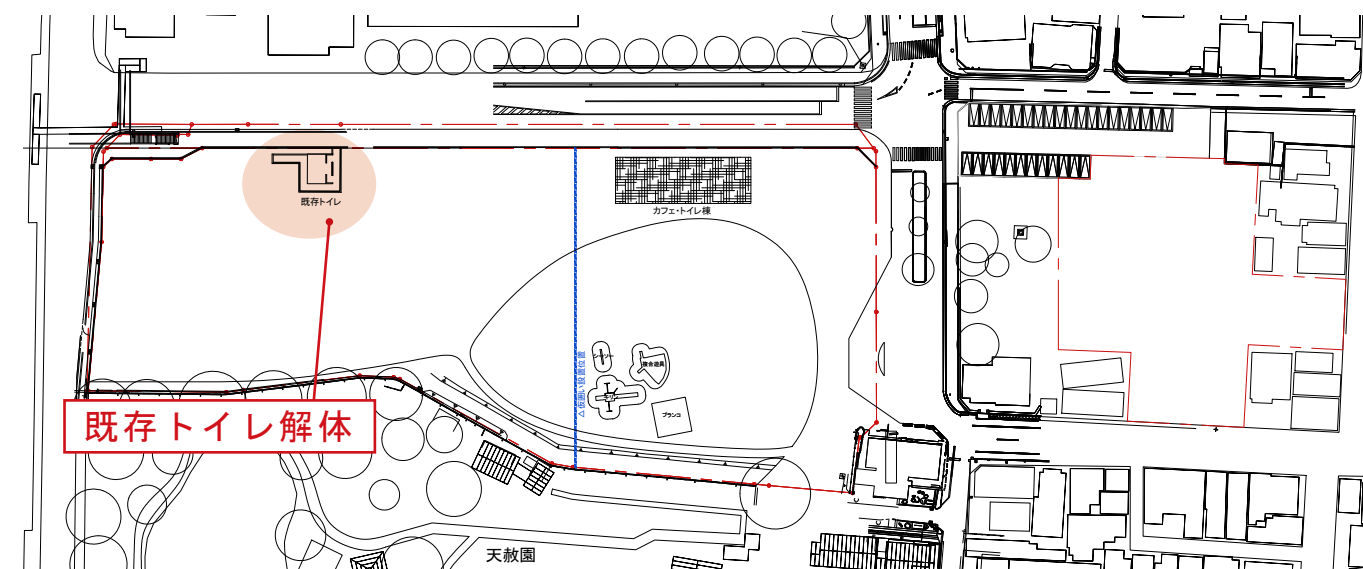


# 敷地利用計画図

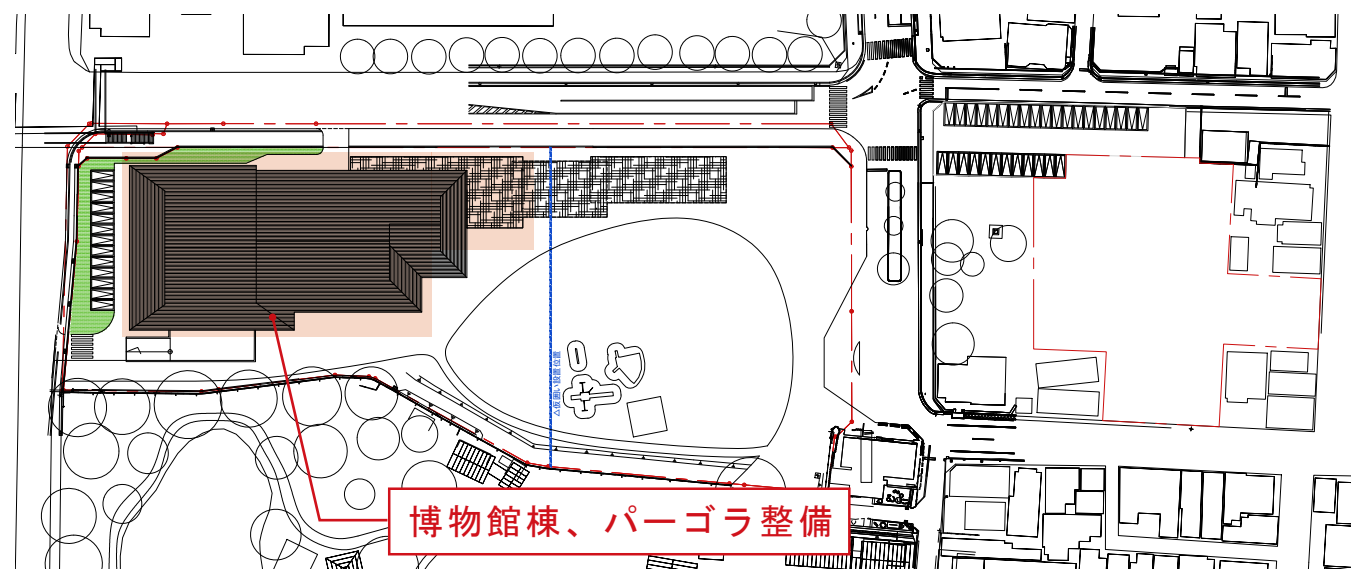
(1) 令和5年春～秋



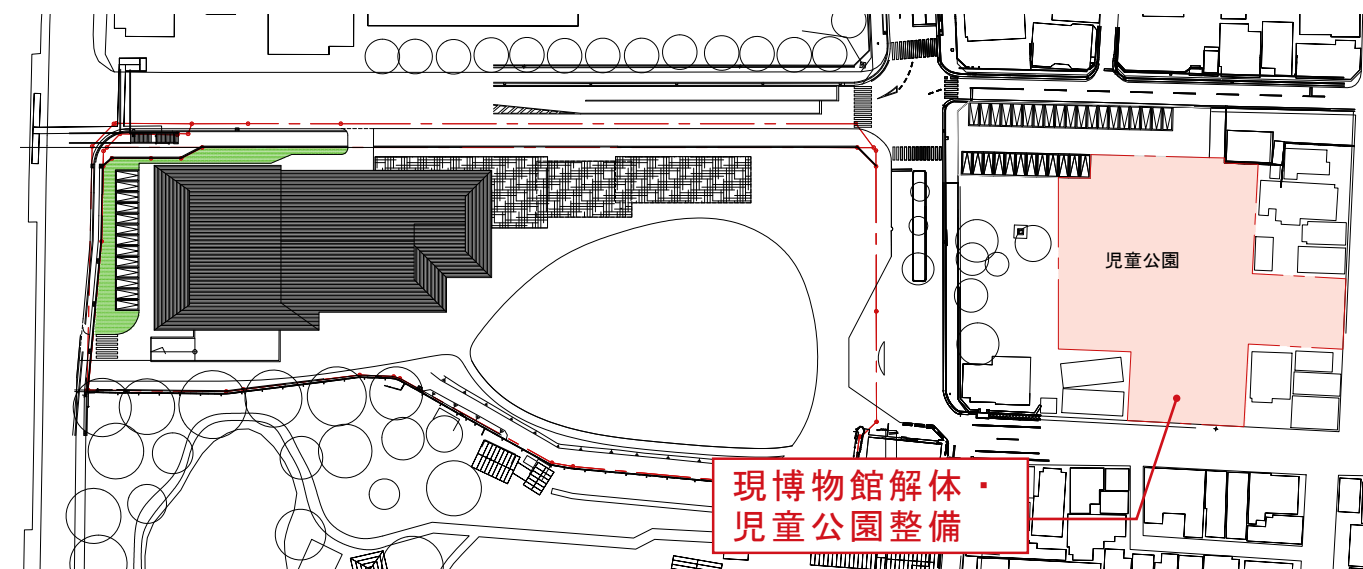
(2) 令和5年12月頃



(3) 令和6年～令和9年春（令和9年春オープン予定）



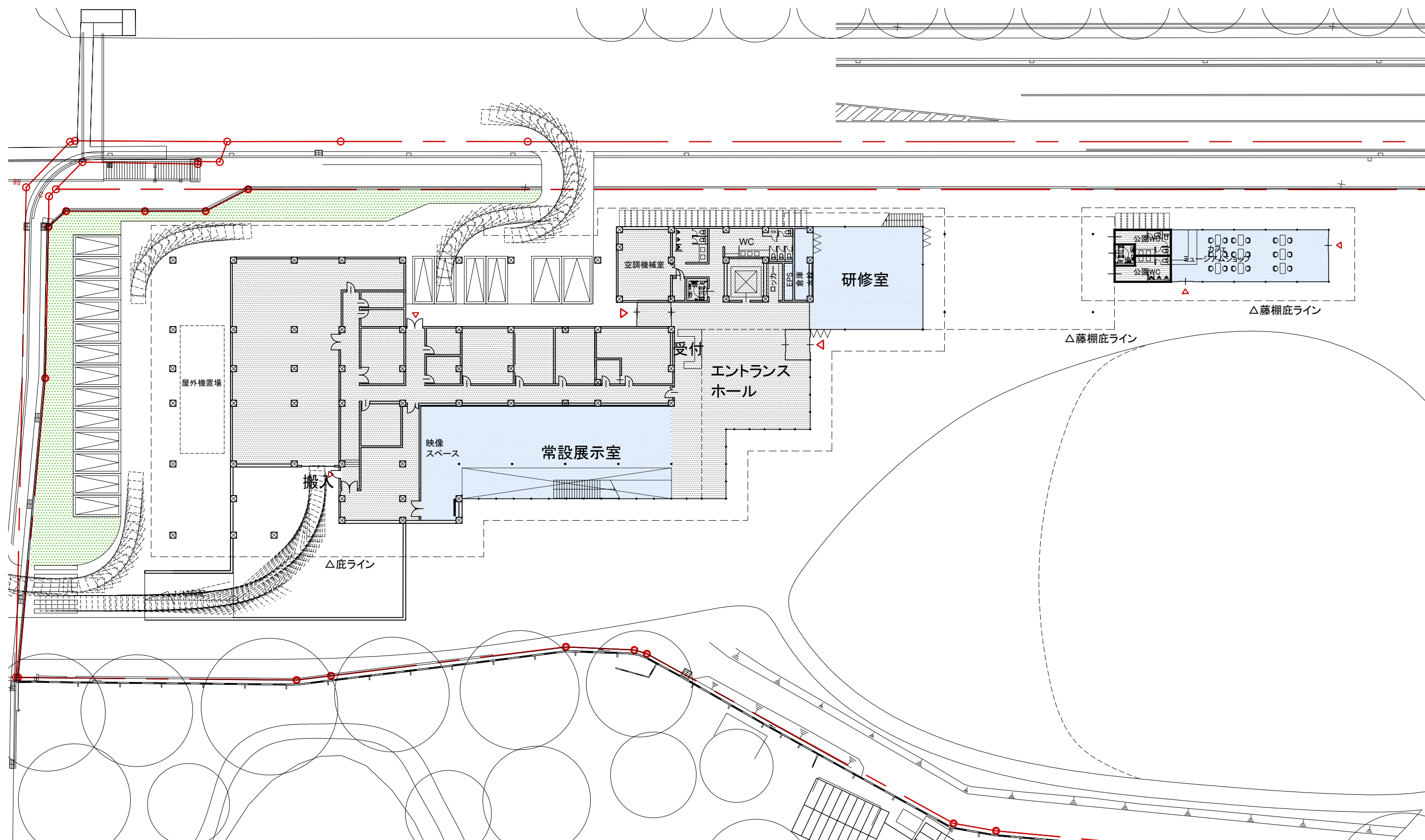
(4) 令和9年度以降



工事開始から児童公園の整備まで、出来るだけ**広場の利用を妨げない計画**とします。

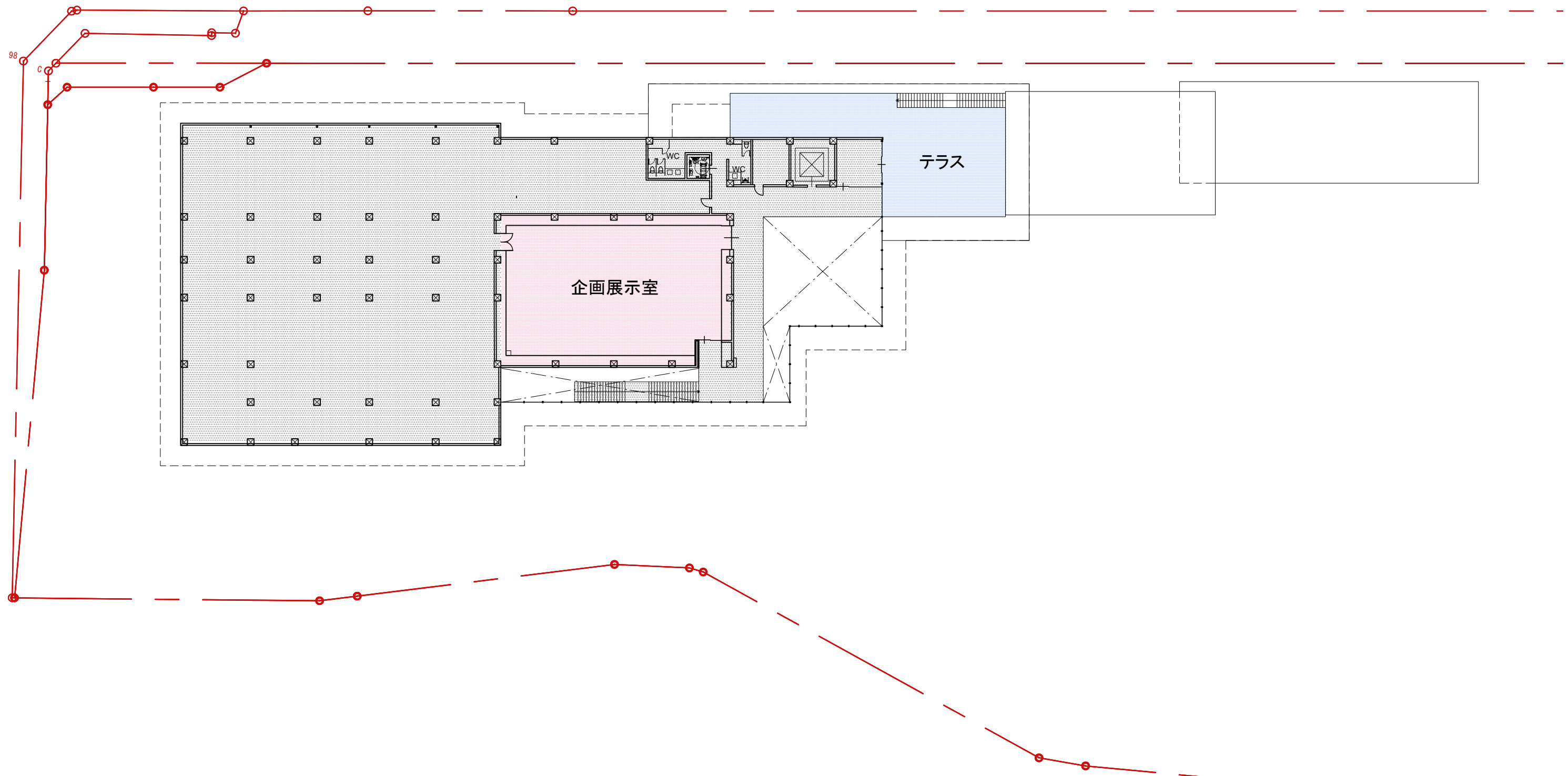


# 1F 平面図



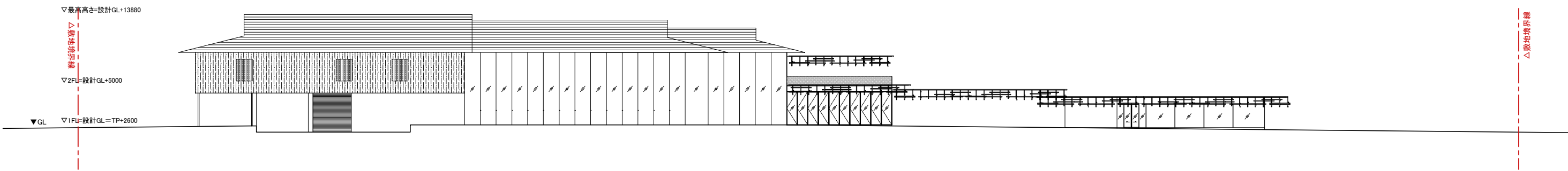


# 2F 平面図

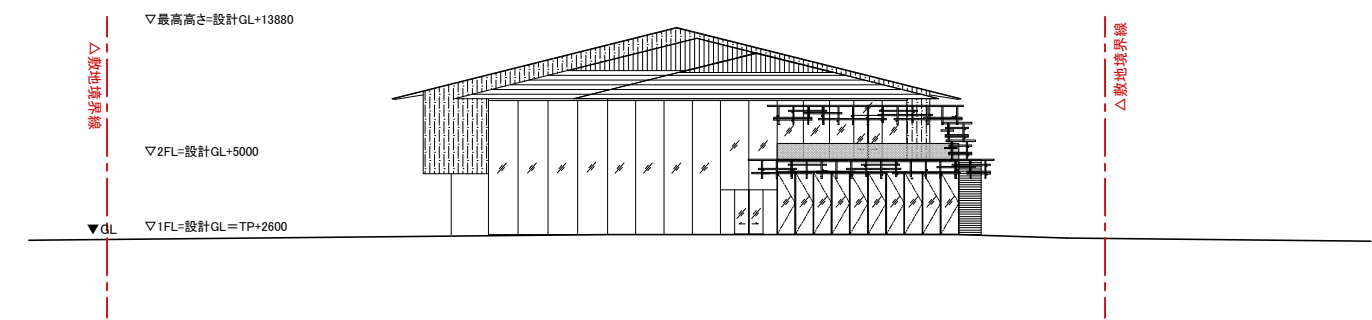




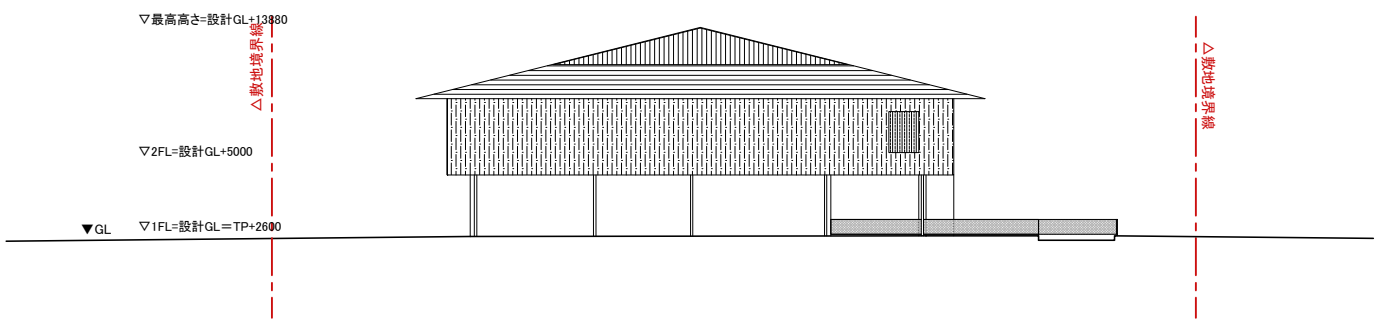
# 立面図 (S = 1/500)



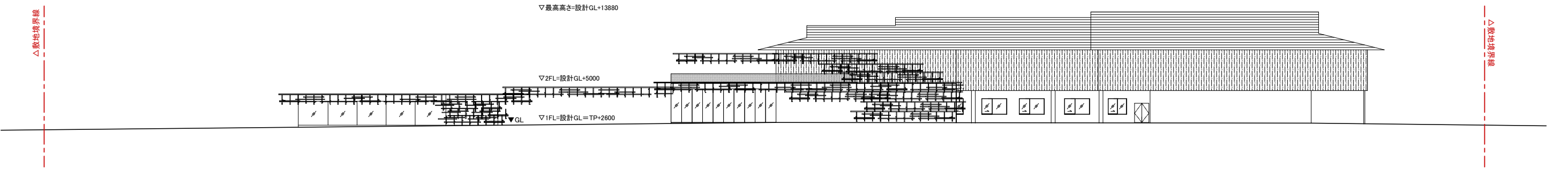
南側立面



西側立面

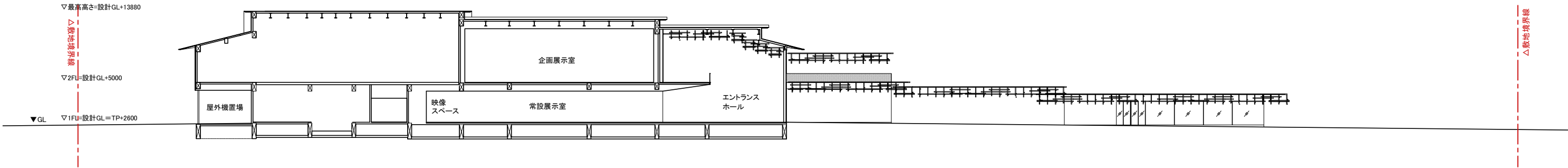


東側立面

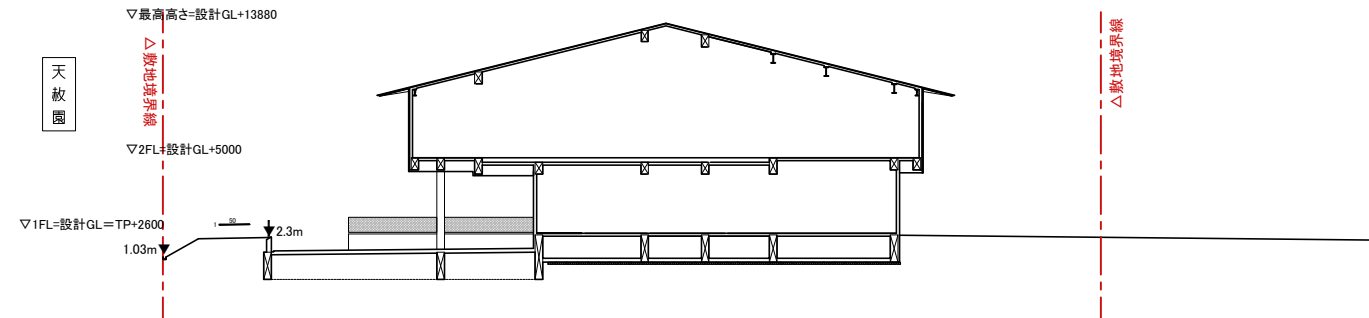


北側立面

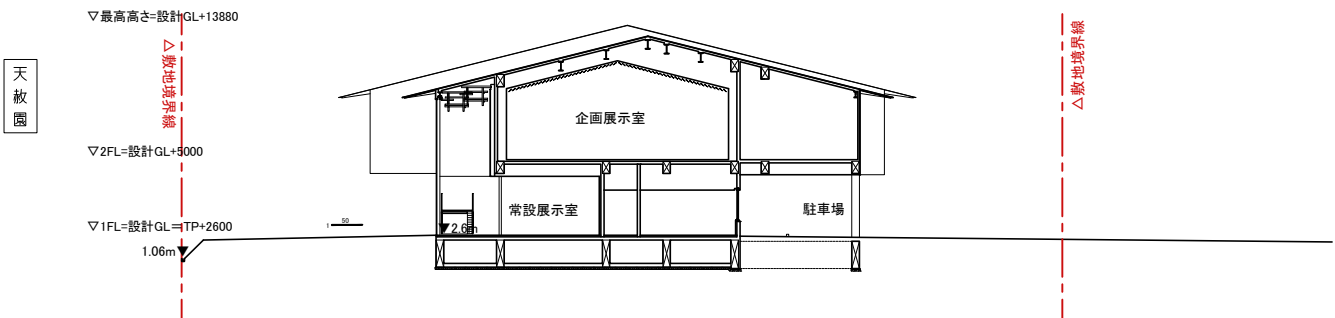
# 断面図 (S = 1/500)



A-A断面



B-B断面



C-C断面

